

創学舎ニュース

Sougakusha News

No.340

卒業、おめでとう。

私たちが生きる道のりは、不透明なことだらけ。どんなに努力しても、社会的に成功するとは限らない。しかし、人生の勝者は、例外なく必ず努力をしています。試行錯誤を繰り返す勇気をもとう。

(柳 善一)

次の一歩を力強く踏み出してください。人生は有限だから。「未来」とは「可能性」のことだから。

(五日市 浩)

みなさんは受験というものを通してそれぞれ自分と向き合い闘ったことと思います。この経験は実に貴重なもの。受験の結果はどうあれ、この得難い体験を忘れず、今後の人生を力強く生きていってほしいと切に願います。

(高橋 力)

これから進む道は人それぞれ様々ですが、いざれにしても素敵な大人になつて下さい。

(上野 真宏)

卒業おめでとう。健康に留意し、親に感謝し、友を大切に、学びを尽くし、自分が心から打ち込めるものを見つけ、自分の能力を最大限に発揮し、世の中のことを知り、貢献し、自分になれる最高の自分になりなさい。

(小林 健輔)

卒業おめでとう！

この受験を通じて一歩、また一歩大人へ成長できましたね。応援してくれたみんなに感謝しましょう。そしてこれからも前へ、前へ突き進め！創学舎で皆さんに出会えて嬉しいです。ありがとう。

(森 清志)

卒業おめでとう！新しい環境での生活は忙しいものになると思いますが、たまには創学舎に顔を見せに来てください。あと勉強は続けること！

(小笠原 洋介)

みなさんの成長を見て、私も学ぶことがたくさんあります。今後の活躍を祈っています。

(関 憲吾)

皆さん、ご卒業おめでとうございませう。遙か長い道のりを歩き始めた君に幸せあれ！

(鮎澤 崇嗣)

卒業おめでとうございませう！

新しい社会には皆さんの新しい味方がたくさんいます。その人々を信じて、楽しい高校生活を送ってください。そして、その何千倍、自分を信じてください。

(瀬野 武士)

卒業おめでとうございませう。春からの学生生活では、受験を経て成長した分、きっと、新しい世界が見えますよ！

(大久保 宏美)

これから先、「これでいいのだ」と言える結果をお互いに出していきましょうね。

「人生はチャレンジだ」【丁鶴田】

(山崎 将之)

卒業おめでとう！合格するために努力し続けた日々は君達にとって一生の財産になると思います。これからの更なる飛躍を期待しています。

(服部 恵治)

卒業おめでとうございませう。新しい地でのみなさまのご活躍を期待しております。

(浅岡 茜里)

人生の節目を迎えました。昨日と今日、今日と明日、特別変わることもないかもしれませんが、何かが変わっていくのです。周りの人に感謝し新しい道を踏みしめよう。

(松永 弘文)

過去がどうであれ問題なのはこれからです。過去の失敗に捕らわれることなく、過去の成功にのみとくことなく、前を向いて歩いてほしいです。私は昨日の自分より成長している今日の自分でありたいと思っています。皆さんにもそうあつてほしいと思います。卒業おめでとうございませう。昨日の自分に別れを告げて、新たな一歩を踏み出しましょう。

(小池 寿幸)

「入試終了 万歳!!」ですね。結果 うんぬん……というより、これまでの努力・忍耐に対してお疲れさまです。楽しい高校生活が待っていますね。

(新島 景子)

これからの高校生活は、今までとはレベル違いの新しい変化が様々に訪れます。それらを乗り越えるには、相当の努力と忍耐を要します。時には心が折れそうになるときもあるかとは思いますが、みなさんを支えてくれている人が必ずそばにいてくれることを思ってください。たまには顔を見せに来てください。

(真鍋 真悟)

卒業おめでとう



成功者は必ず時間という人生最大の財産に投資しています。今この一瞬一瞬を大切にしましょう。

(村田 寛之)

卒業おめでとうございませう！この受験を通して様々なことを身に付けたと思います。この経験を活かしてさらなる活躍をしてください。高校生活を楽しんでください。ね！

(上條 純一)

さまざまなジャンルの本を読み、世の中のとあらゆるものに興味をもちなさい。そうして、その中から自分の進むべき道を見つけなさい。

(澤田 秀樹)

受験お疲れ様でした。受験勉強で覚えた知識はいつか忘れてしまっても、創学舎で身につけた勉強の方法だけは絶対に忘れないでください。そして、夢に向かって一生懸命努力したことを絶対に忘れないでください。それはみんなの大切な宝物ですから。みんなと一緒に勉強できて最高に幸せでした。心から、ありがとう。(高寺 大介)

卒業おめでとうございませう。これから先、君たちの前に次々と高い壁が立塞がるでしょう。しかしそんなときは、今回努力した経験を思い出し、自分を信じて突き進んでください。君たちに越えられない壁はない。(矢上 有二)

卒業おめでとう！みなさんは、入試という大きなイベントを経験しました。受験勉強という孤独で厳しい戦いや、両親や周りの人の優しさや温かさを感ずることができたのは、人生においてもとても貴重な経験で、貴重な財産です。この経験を活かして、次の大学受験や就職に臨んでください。いつまでも応援しています！(長坂 浩之)

卒業おめでとうございませう！4月から高校生活が始まります。家族、友達、先生：周りの人の気持ちに分かる優しい人になつて下さい。いつでも会いに来てね！(中野 桃花)

卒業おめでとうございませう。しかし、ここがゴールではありません。今回の受験で大変な思いをしました。この経験はそれを切り開くのに必ず役に立ちます。勉強は一生続きます。ほとんどの人に、『もっと勉強しておけばよかった』と後悔する時がやってきますが、できれば創学舎で出会った皆さんにはそうなるつもりはいたくありません。これから先もお互い、勉強(学問に限らず)を頑張りましょう。(高野 陽介)

(高野 陽介)

「ご卒業おめでとうございませう。【それぞれの1年】が始まります。どのような物語を綴るかは君次第です。目指すはさらなる高みへ。負けるな、若者たちよ。」

(松尾 裕史)

卒業おめでとう。新しいステージが君を待っている。ただ、そこでは君は新参者だ。力を発揮するために、学び続けよう。期待しているぞ。(大場 健司)

高校受験はみなさんにとって単なる通過点なのかも知れませんが、辛抱し努力した成果は、みなさんの人生の中で必ず生きてくると信じています。(岡本 武)

みなさんに出会えたこと、本当に感謝です。次のステージに向かって、力強く踏み出していきましょう。これからも応援しています！今までの感謝の気持ちを込めて……卒業おめでとう！(櫻村 公太)

受験勉強をがんばった皆さんには、きっと素敵なこといっぱいあるはず！卒業おめでとう！(船木 政子)

(船木 政子)

(村上 静馬)

『それぞれの1年……』

●3月は1年の中での分岐点の暦だ。毎年、嬉しさとさみしさが混ざりながら、静まり返った教室を水曜日と土曜日に眺める季節だ。この創学舎ニュースが届く頃には、君たちひとりひとりが新たな『それぞれの1年』を踏み出そうという時期であると思つて、書くことにしたい。

●自分の思いどおりの進路に進むことができない君。また悔しくも思いどおりの進路に進むことができなかった君。君たちにこの1年という時間は誰にでも平等であり、という1年にするかは君次第だ。だからこそ、この時期は『今の自分について』考えてほしい。ただ、後者に至つてはなかなか元気が出ないのは無理もない。私もこの3月に良い思い出はない。私自身、高校受験、大学受験とも、第1志望の学校からは不合格をもらつているし、大学受験浪人も経験している。ただ、そんな今だからこそ前を向いてほしい。顔を上げて自分の未来について本気で考えてほしいと願う。そこで私の友人たちのエピソードをいくつか紹介したい。

●【エピソード1】私の友人にAという男がいる。Aは柏市H中学校の卒業生であり、東葛飾高校をトップで入学し、ビリで卒業した経歴を持つ。だから、現役で大学に合格するはずもない。大学受験浪人をした。そんな彼には夢があった。総理大臣になるという夢だ。

『19歳でそんな非現実的なことを言う奴がこの世にいるのか』と私はそのときは思った。私はひよんなことから彼と出会う、柏図書館と一緒に勉強するはめになる。彼は何もかも凄まじかった。約1年間、毎日同じ



生活を繰り返した。朝5時に起きて夜11時には寝る。勉強は1日14時間。朝昼夜の食事は30分。第一志望の大学受験生のためのW模試では常に全国1位。ただ1年後の受験時、併願受験で受けた大学はK大学を始め、M大学、J大学とほぼ全ての大学に合格通知をもらつていたが、第一志望のW大学政治経済学部には合格であった。普通ならば併願で受かった大学に進むだろうが、彼は何を思ったのか、すべての合格通知を破り捨てた。本人曰く、『俺がやりたい政治に安全圏なんてない。だから自分を安全圏において、併願受験なんてしてはいけないかった。』そして、もう1年の受験勉強が始まる。その1年後にW大学に合格し、さらに1年後にはW大学の歴史の中でもかなり優秀な成績が認められ、アメリカのH universityに行くことになる。今はNという世界屈指のスポーツメーカーの本社で働いており、ボストンに暮らしている。ただ今でも総理大臣になる夢はあきらめられないらしい。

●【エピソード2】また、おもちゃ好きな、小学生からの友人Nもいる。彼は中学受験で日本男子御三家のひとつK中学に合格し、言わずと知れた日本トップT大学に現役で合格した。誰にもその順風満帆に見える彼は一瞬にして地獄に落とされることになる。自分を応援してくれた父、そして唯一の兄を24歳のときに亡くすことになる。当時、厚生省(今で言う厚生労働省)に勤めていた彼は、父のおもちゃ屋の跡を継ぐことになる。さらに不幸は続く。彼が29歳のとき、彼の息子が病気でこの世を去る。私はこんなとき彼に何をしてもあげることができずのか、全くわからなかった。人間は非力だ。後から本人に聞いたのだが、絶望の淵にいた彼を救ったのはおもちゃだった。彼が作ったおもちゃの評判が天国にいる息子の耳にまで届くように、子供が笑顔になれるおもちゃを今も懸命に作り続けている。



●【エピソード3】今でも忘れられない友人もいる。大学に入ってから知り合ったある女性Sがいる。彼女はなんと3浪して、大学に入った。女性で3浪という驚く人も多いはずである。彼女は教師になりたいと名古屋から上京してきた。話を聞くと高校生のときに父親が経営する会社が倒産し、一度働いたそう。高校名を聞いたら、びっくりするほど有名なお嬢様学校だった。彼女は『自分がダメになりそうなときに励ましてくれた中学時の国語の先生に憧れていた。そして自分と同じように悩む子供の力になりたい。』と口にしてた。ただ今でも忘れもしない9月1日に友人からの連絡が入った。彼女が亡くなった、と。病名は心不全だった。これから自分の夢を追いかけようと走り出そうとする彼女に神様は微笑まなかった。そのときほど神を恨んだことはない。悔しくて、悔しくて、仕方なかった。

●何が言いたかった？人間はこれから未来に何が起ころかはわからないということ。誰もが生きる上で喜び・楽しみ・苦しみ・悲しみ・困難は【当たり前のように】その人に訪れるということ。

●『では生きることは取るに足らないことなのだろうか。』いや、そんなことは、ありえない。絶対に、絶対に、絶対にそんなことない。生きる上で家族や友人、君を必要としている人間が必ずいるはずだ。身近にいるから、気付いていないかもしれないが、【当たり前のように】君のそばにいてくれる家族や友人がいることの【意味】をもう一度意識してほしい。

●生徒から『受験勉強に意味があるのか』と質問されたことがある。私にも実のところ、わからないが、価値はあると信じている。入試問題は誰にでも同じ問題が出る。【当たり前のこと】だが、すごいことだ。個性はそこでこそ発揮されるからだ。これからの人生で、自分らしさや価値観を嫌というほど問われることが多くなる。別に変人ぶる必要はない。自分を隠す必要などないからだ。若さはタフネス。自分を安全圏に置く必要もない。自分に無理なものでも、自分の心の奥底からすばらしいと認められるものに命を燃やして、それを追い求めてほしいと願つてやまない。

●私の創学舎での新たな1年が始まるとうとしている。新たに君たちの【それぞれの1年】が始まるうとしている。君たちの【それぞれの1年】が単なる人生の1—80でなく、価値のある1年になると信じている。

●先ほどの【エピソード3】に登場した彼女の眠るお墓が京都にある。毎年必ず大学時代の友人たちとお墓参りに行く。私がこの仕事の価値を見失いそうなときにいつも私の背中を押してくれる天国の彼女からの声がある。それを私にかえたいと思う。

生きる意味 探すあなたは生きています

生きる価値 信じる私も生きています

(松尾)

▼▲継続希望の方へ▲▼

▶退塾や転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望があれば創学舎ニュースを無料で送り致します。

▶在籍していた教室までご連絡ください。